



6/25 コロナに負けず元気に田植え！
～野原八幡宮 御田植祭～

▶田植えをする八幡小児童たち



五穀豊穡を祈願して行われる御田植祭が、野原八幡宮の神田で行われました。昨年度はコロナの影響により、来賓や早乙女は出席せず宮総代や関係者のみで執り行われました。

ことしも未だコロナ禍であるため、早乙女は不在のままでしたが、2年ぶりに地元の八幡小5年生44人が参加し、関係者と一緒に田植えをしました。例年とは違いマスクをしながらの田植えでしたが、皆楽しそうに苗を植えていました。

6/22 後世に歴史を伝えていきたい
～「一小校区の史跡」改訂版完成～

▶浅田市長へ完成報告をする一小校区元気づくり委員会の皆さん



荒尾第一小学校区の史跡を写真付きで紹介した冊子「一小校区の史跡」改訂版が完成しました。冊子は平成22年に一小校区元気づくり委員会歴史部会が作成し、その後、初版から11年が経過しましたので、史跡や公共施設等の見直しなどの改訂が行われました。

同委員会の諸隈征碩歴史部会長は「荒尾地区は歴史の宝庫。後世に伝えていきたい」と話されました。

僕らのまちの
学校通信
～地域の皆さんにお届けします～

今日は「支援学校」からのお便りです

キャリア教育に力を入れています

小学生から高校生まで170人ほどの子どもたちが在籍する支援学校では、「かかわる力」・「きめる力」・「はたらく力」を育成すべき資質・能力と定め、さまざまな体験を段階的に積み重ねる教育実践の充実に努めています。

文部科学大臣表彰を受けました

この10年間、知的障がいのある子どもたちの「キャリア教育」に取り組み、県内でもトップランナーとして期待される学校です。

なかでも、高校生に対する「現場実習」（2週間程度学校を離れ、事業所など実際の現場で労働や活動の体験をする学習）は、キャリア教育の中心を成す学習です。知的障がいのある子どもたちの効果的な学びには、机上の学習に加え、実際の体験とその振り返りが不可欠です。「現場実習」は、生徒の進路につながる体験活動であるだけでなく、生徒たちが将来の「夢」を描き、それを叶えようとする生き方（自己実現）にもつながる学習です。そのためには生徒が暮らす様々な地域で、様々な業種の「現場実習」の場があることが非常に重要です。



現場実習にご協力ください

生徒たちが「夢を描き」「一生懸命」になれる場を探しています。たくさんの事業所の皆さんにご協力いただき、本校の「キャリア教育サポーター」になっていただけることを願っています！

〒荒尾支援学校進路指導部 谷口 ☎62-1131

6/27 子どもたちの笑顔あふれる
～NHK「みんなDE どーもくん！」公開収録～



荒尾総合文化センター開館35周年記念事業、NHK「みんなDE どーもくん！」の公開収録が行われ、県内を中心に約400人が来場し、歌や劇、クイズコーナーなどの舞台を楽しみました。

市内から参加した井福さんは「コロナ禍でステージイベントを見る機会がなかったので、開催されてうれしい。子どももとても楽しんでいました」と話していました。

この収録の様子は、9月5日(日)午前7時25分からEテレで放送されます。



1_歌のお姉さんたちと一緒に身振り手振りで歌を表現 2・4_ステージを楽しむ来場者たち 3_ジャングルポケット、どーもくん、うさじいによる劇 5_ゲストのお笑い芸人きつね

おもな内容 main contents

まちの話題	3
衆議院議員総選挙の案内	6
使われていない空地を活用しませんか	7
保健・健康	8
子育てのひろば	10
くらしの情報	11
試験・募集・イベント	17
はじめてのHAPPY BIRTHDAYなど	21
図書館情報	22
文化センター情報	23
相談の窓口など	24
あらおカレンダー	26

声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙]
〒福社課福祉係 ☎63-1406

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今月号に掲載している情報に変更が生じる場合もあります。イベントや行事への参加などをはじめ、掲載情報をご利用になる場合は最新の情報を改めて確認することをおすすめします。

広報あらおをスマホへお届け



いつでも・どこでも・簡単に広報紙を閲覧することができます。

荒尾市公式 LINE

新型コロナウイルス感染症に関する情報や災害・防災などの緊急情報をお届けします

友だち登録はこちらから▶

